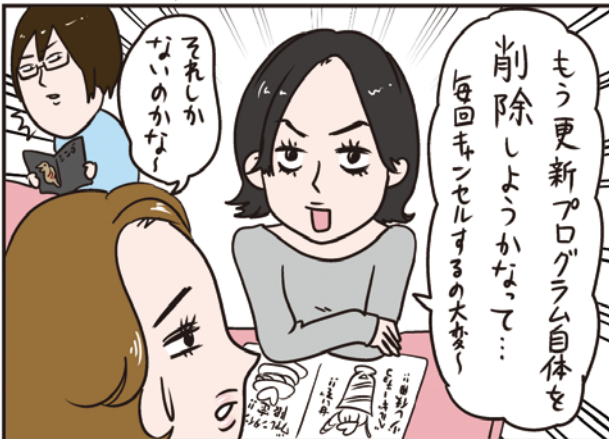
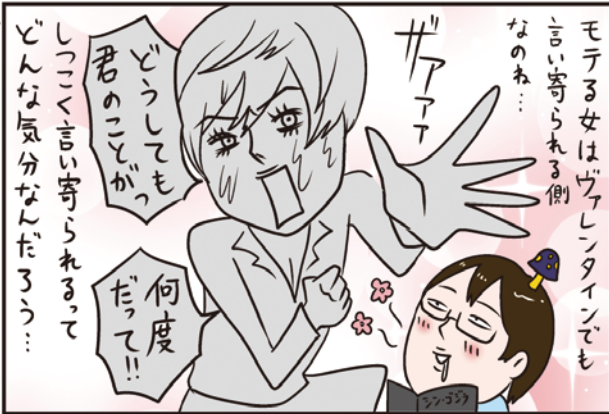


IT日和

イラスト 山本コウカ

vol.21 しつこい



→ こういうシーンではなぜか天候が荒れがち

App Store アプリのお知らせ

アプリをダウンロードすると iPad, iPhone, iPod Touch といった iOS 端末から読むことができます!



会誌「情報処理」



デジタルプラクティス

アプリのダウンロードはこちら (無料)

デジタルプラクティス 会誌「情報処理」



情報処理学会 会員募集中!!

ITに関する最新情報や研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます



研究会がたくさん♪

自分に合った分野が見つかりそう!

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

お問合せ

一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、11月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「インターネットと大学改革」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ビッグワード（インターネット、IoT、What to do, How, Why, 共創、協奏）ばかりで何を言いたいのか具体的には分からなかった。（藤森英明）

特別コラム「ポケモン GO の衝撃」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■賛成派と反対派の両方の観点がありバランスが良かった。（匿名希望）

■AR技術を学校の授業に取り入れると、より深い学びが実現されるだろう。（長山知由理）

■時間、場所の問題はあるかもしれませんが、今回のようなコラム特集であれば、最後にパネルディスカッションやBOF（Birds Of a Feather）があると面白いのではないのでしょうか。（匿名希望）

■分量はあまり多くなかったが、技術的・法的・社会的観点からの記事があり読み応えがあった。（匿名希望）

特別解説「『変なホテル』訪問」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■主に発想の面で従来と違う点が多く、新鮮だった。今後自分が研究開発に取り組むときに発想の仕方を参考にしたい。（匿名希望）

■変なホテルだけでなく、ロボットに置き換えられるのは「タスク単位」であって「人単位」ではない状況はしばらく続くのではないかと思いました。（匿名希望）

特集「ゲーム産業の最前線」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■表題や節題などのフォントがあまりにも崩れたフォントであるため読みづらく、不快に感じました。このようなフォントの使用はやめてほしいです。（藤森英明）

■断片的な知識しか持っていなかったのに、体系的に知識を習得でき大変に有益であった。（上田晴康）

■ゲーム業界に興味があり、今回の内容は面白いと感じるものが多かった。（持田恵佑）

■非常に読み応えがあって素晴らしかったです。特に「ゲームにおけるプロデュースについて」（安藤武博氏）は、異なる業界（本づくり）で働く自分にも通じることが丁寧に書かれていて大変感銘を受けました。（匿名希望）

■日本が歴史を作ってきて多くの技術や産業ノウハウがあることが実感できました。日本が誇れる分野だと思います。著者の思いが伝わってくる記事ばかりでした。今後ぜひ、ポケモン GO の仕組みをジュニア会員にも分かるよう解説していただきたいです。（匿名希望）

■この産業分野の状況が分かった。近ごろのVRの盛り上がりとともに何か面白いことが起きそうな気がしてきた。（匿名希望）

「1. 日本のゲーム産業：その発展とビジネスの特徴」

■詳細で大量のデータをよく記事にまとめられています。（匿名希望）

■多くの情報をよくまとめられていて読み応えがありました。このような記事を今後も期待しています。（匿名希望）

「3. ゲームにおけるプロデュースについて」

■会誌ではなくゲーム雑誌の記事だと面白いのですが。（匿名希望）

解説「データの形が教えてくれること」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■TDAは、ビッグデータから意味のある事象を「見える化」する1つの手法として有効に思えました。（藤森英明）

連載「あなたの知らないプログラミングの世界：アルゴリズムってこんなに楽しい」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■子どもから大人まで楽しめる内容であり、プログラミング教育の中での、アンブラグドの教育内容としても参考になると思います。（匿名希望）

■アルゴリズムについて分かりやすく解説されていて、知らなかったこともよく理解できた。ほかのアルゴリズムについても解説してほしい。（澤 佳祐/ジュニア会員）

教育コーナー「べた語義：ユーザー中心のアプリケーション開発を学ぶ実践的教育カリキュラム」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ユーザー中心でない場合にどうなるのかを比較してほしい。（匿名希望）

■情報系大学教員の方にとって参考になる内容だと思いますので、より詳細な記事を今後掲載されるよう望みます。（匿名希望）

連載「ビブリオ・トーク：タックス・イーター」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■一見すると専門分野からは遠く離れているように見える分野の本を、専門家としてどのように受け止めたかについてうかがえるのが醍醐味です。その点から、本文の要約や抜粋による内容紹介は最小限、あるいはなくてもよいのでは、と考えます。ほかの学会と共同企画にしても楽しいかも……。

(山田菊子)

会議レポート「DICOMO2016 開催報告」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■1) 開催日, 2) 場所, 3) 参加人数, 4) 会議の位置づけ, 5) 会議の内容, 6) 感想, 提案が含まれたレポートを期待しています。少なくとも1), 2), 3) は分かりやすく書くべきだと思います。時期が初夏であることは冒頭に紹介されていましたが、今回の場所は半分ぐらい読んで判明しました。このあたりは編集者が助言したほうがよいと思いました。(藤森英明)

■なぜ座敷で会食を行う必要があるのかわからなかった。

(匿名希望)

連載「会誌編集委員会女子部」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■海外赴任経験談, 子連れ単身赴任経験談, 研究内容が含まれ、盛り沢山で大変参考になりました。内容が多岐にわたっていたので、記事本文中に小見出しをつけていただくと読みやすかったと思います。(匿名希望)

■「オランダ滞在記」は、こんなの一般に広まったらますます女子の研究者志望が減るのではないかと思ったが、研究者としてやっていこうという強い意志が感じられて良かった。

(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■モニタは記事すべてにa～eのランキングをつけていますが、これらのフィードバックが分かるようなサマリを載せてもらいたいです。(藤森英明)

■最近採択されたアルゴリズムに関する論文についての記事をぜひ掲載してほしい。(匿名希望/ジュニア会員)

■WebページのUX, UI, コンパイラ, 質問応答といったテーマを取り上げてほしい。(匿名希望)

■3Dプリンタの活用事例特集を企画してほしい。(匿名希望)

■変なホテルやゲーム特集, TDAなど、今月は非専門家でも読みやすい記事が多かったです。(匿名希望)

■こちらが気になることが特集となっていることが多い。

(匿名希望)

■都立高校の情報の一授業を知る機会がありましたが、先生の指導、カリキュラムに疑問を持ちました。現場にも一般にも参考になるような、中学、高校で評判の良い授業の実践レポートをぜひとも取り上げていただきたいと思いました。(匿名希望)

■今月号は社会科学的観点からの記事が多いと感じた。技術的側面にとらわれがちな我々には、目先を変える意味でも良かったと思う。(吉田泰光)

【本欄担当 米谷雄介, 田坂和之/会員サービス分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL: <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html>>にも掲載しています。Web版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらをご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想, 意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見, 提言
- ・その他, 情報処理技術についての全般的な意見, 提言

など自由なご意見, ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>>で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見, ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部
E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	デジタルプラクティス「デザイン・アートとICTの融合によるサービスのイノベーション」特集への論文投稿のご案内 http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0804s.html	2月6日(月)		
	論文誌「私たちを取り巻く情報の信頼性とライフタイムを意識した安全な社会基盤の確立に向けて」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-Z.html	2月27日(月)		
	論文誌「超スマート社会に向けた高度交通システムとモバイル通信」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-E.html	3月31日(金)		
	論文誌「社会の知的化を先導するコラボレーション技術とネットワークサービス」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-D.html	4月10日(月)		
	論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-F.html	5月8日(月)		
	論文誌「人文科学とコンピュータ」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-C.html	5月9日(火)		
1月17日(火)	第161回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/all161.html	11月7日(月)	当日のみ	アイーナいわて 県民情報交流センター
1月17日(火)	第164回データベースシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dbs164.html	12月2日(金)	当日のみ	筑波大学東京キャンパス 文京校舎
1月19日(木)～	第205回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会	11月4日(金)	当日のみ	京都大学
1月20日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim205.html			百周年時計台記念館
1月19日(木)～	第169回マルチメディア通信と分散処理研究発表会	11月28日(月)	定員になり次第	リフレックス勝浦
1月20日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps169.html		※第169回は会場となる宿への宿泊が原則*必須*となります	(旧富士通ヴィラ勝浦)
1月19日(木)～	ウィンターワークショップ2017・イン・飛騨高山	12月8日(木)		高山市民文化会館
1月20日(金)	http://www.sigse.jp/2017/			／ひだホテルプラザ
1月20日(金)～	第100回グループウェアとネットワークサービス・	11月18日(金)	当日のみ	土庄町総合会館
1月21日(土)	第18回コンシューマ・デバイス&システム・ 第15回デジタルコンテンツクリエイション合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn100cds18dcc15.html			フレトピアホール (香川県小豆郡)
1月23日(月)～	第171回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会	11月30日(水)	当日のみ	大濱信泉記念館
1月24日(火)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci171.html			(沖縄・石垣島)
1月23日(月)～	第216回システム・アーキテクチャ・第178回システムと	11月14日(月)	当日のみ	慶應義塾大学
1月25日(水)	LSIの設計技術合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc216sldm178.html			日吉キャンパス
1月27日(金)～	第42回エンタテインメントコンピューティング研究発表会	12月23日(金)	定員になり次第	ホテルサンバレー那須
1月28日(土)	http://entcomp.org/sig/			
2月3日(金)	ソフトウェアアジア2017 http://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2017/		1月20日(金)	学術総合センター・ 一橋記念講堂
2月4日(土)	第113回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch113.html	12月19日(月)	当日のみ	愛知工業大学 本山キャンパス
2月9日(木)～	第124回情報基礎とアクセス技術研究発表会	12月13日(火)	当日のみ	ティーオージー会議室
2月10日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/IFAT124.html			大阪駅前第3ビル
2月11日(土)～	第138回コンピュータと教育研究発表会	12月22日(木)	当日のみ	大阪電気通信大学
2月12日(日)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce138.html			駅前キャンパス
2月17日(金)	第7回高齢社会デザイン研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/asd7.html	12月22日(木)	当日のみ	静岡大学 浜松キャンパス
2月17日(金)	第75回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip75.html	12月23日(金)	当日のみ	佛教大学二条キャンパス
2月17日(金)～	第115回音声言語情報処理研究発表会	1月6日(金)	定員になり次第	琴平グランドホテル
2月18日(土)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp115.html			(香川県)
2月21日(火)	東海支部主催講演会「組込みシステム向け仮想化技術ーハードウェアアーキテクチャとソフトウェアー」 http://www.ipsj-tokai.jp/			名古屋大学 IB電子情報館
2月24日(金)	第96回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm96.html	12月23日(金)	当日のみ	沖縄セルラー電話(株)
2月27日(月)～	第112回数値モデル化と問題解決研究発表会	1月5日(木)	当日のみ	繋温泉清温荘
2月28日(火)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps112.html			
2月27日(月)～	第114回音楽情報科学研究発表会	1月12日(木)	当日のみ	ヤマハ株式会社本社
2月28日(火)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus114.html			(静岡)
3月1日(水)～	第139回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os139.html	1月17日(火)	当日のみ	アクロス福岡
3月2日(木)～	第170回マルチメディア通信と分散処理・	1月20日(金)	当日のみ	神奈川工科大学
3月3日(金)	第76回コンピュータセキュリティ合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps170csec76.html			
3月3日(金)～	第113回プログラミング研究発表会	1月4日(水)	当日のみ	東京大学
3月4日(土)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro113.html			本郷キャンパス

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
3月3日(金)～ 3月4日(土)	第139回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is139.html	1月6日(金)	当日のみ	東京電機大学 東京千住キャンパス
3月3日(金)～ 3月4日(土)	第36回インターネットと運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot36.html	1月11日(水)	当日のみ	カルチャーリゾート フェストオーネ (沖縄県宜野湾市)
3月6日(月)～ 3月7日(火)	第172回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.sighci.jp/events/view/48	1月20日(金)	当日のみ	八洲学園大学 (神奈川県横浜市)
3月8日(水)～ 3月10日(金)	第158回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc158.html	1月17日(火)	当日のみ	大月ホテル和風館
3月9日(木)～ 3月10日(金)	第206回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim206.html	1月6日(金)	当日のみ	国立情報学研究所 (NII)
3月9日(木)～ 3月10日(金)	第217回システム・アーキテクチャ・ 第179回システムとLSIの設計技術・ 第44回組込みシステム合同研究発表会 (ETNET2017) http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc217sldm179emb44.html	1月13日(金)	当日のみ	具志川農村環境改善 センター
3月9日(木)～ 3月10日(金)	第82回モバイルコンピューティングとバーベイスブ・ 第53回ユビキタスコンピューティングシステム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mb182ubi53.html	1月13日(金)	当日のみ	東京大学 本郷キャンパス
3月12日(日)～ 3月13日(月)	第195回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se195.html	1月23日(月)	当日のみ	早稲田大学 西早稲田キャンパス
3月13日(月)～ 3月14日(火)	第162回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al162.html	1月5日(木)	当日のみ	大分県由布市(予定)
3月13日(月)～ 3月14日(火)	第166回コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学 研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg166.html	1月6日(金)	当日のみ	(株)GYAO
3月13日(月)～ 3月14日(火)	第22回セキュリティ心理学とトラスト研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/spt22.html	1月13日(金)	当日のみ	長崎県立大学 シーボルト校
3月16日(木)～ 3月18日(土)	情報処理学会第79回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/79/	12月9日(金)	2月10日(金) 当日可	名古屋大学 東山キャンパス
3月17日(金)	情報システム教育コンテスト (ISECON2016) http://miyagawa.si.aoyama.ac.jp/wiki/isecon2016.sidebar	11月25日(金)		東京電機大学 東京千住キャンパス
3月23日(木)～ 3月24日(金)	第49回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio49.html	2月2日(木)	当日のみ	北陸先端科学技術 大学院大学
4月24日(月)～ 4月26日(水)	The1st.cross-disciplinaryWorkshoPONComputingSystems, Infrastructures,andProgramming (xSIG2017) http://xsig.hpcc.jp/	12月21日(水)		虎ノ門ヒルズ フォーラム
6月5日(月)～ 6月6日(火)	2017年ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学 シンポジウム (HPCS2017) http://hpcs.hpcc.jp/	1月30日(月)		神戸大学先端融合 研究環境統合研究拠点
9月12日(火)～ 9月14日(木)	FIT2017第16回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2017/			東京大学 本郷キャンパス



Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 12月16日 論文誌「超スマート社会に向けた高度交通システムとモバイル通信」特集 論文募集
- 12月15日 人材募集情報 (Vol.58 No.1)
- 12月15日 2017年度 会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ募集
- 12月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.58 No.1)
- 12月14日 IoTの本格普及に向け国際標準化機関が規格開発を本格始動
- 12月09日 第64回電気科学技術奨励賞受賞
- 12月06日 論文誌「社会の知的化を先導するコラボレーション技術とネットワークサービス」特集 論文募集

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書に記載する「宛名」, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ, E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください.

*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください.

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します.

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 税抜 20,000円 (税込 21,600円)

賛助会員(企業) 税抜 30,000円 (税込 32,400円)

賛助会員以外の企業 税抜 50,000円 (税込 54,000円)

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 税抜 4,000円 (税込 4,320円) で同一内容を本会 Web ページに掲載できます.

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門(有料会告係) E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています. もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください.

***特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと**

■ (株)豊田中央研究所

募集人員 客員研究員 2名程度(最長3年, 1年ごとの更新)

募集領域 ヒューマンサイエンス研究領域

職務内容 皮膚組織造形/神経インタフェース, VR (Virtual Reality)による人と機械のコミュニケーション, 脳神経構造/脳機能ネットワーク, 創発による新価値形成 など

専門領域/専攻分野 情報工学, 複合情報学, 情報処理, 神経科学, バイオ など

応募資格 上記に関する研究経験があり, 博士の学位を有する方

着任時期 2017年4月1日~(応相談)

提出書類 募集領域名を記載の上, 下記書類を郵送にてお送りください

1. 履歴書, 2. 職務歴(研究実績), 3. 論文リスト, 4. 主要論文別刷(コピー可)

応募締切 順次選考, 採用が決定次第終了

送付先/照会先 〒480-1192 愛知県長久手市横道41-1 (株)豊田中央研究所 人材開発室 採用担当

E-mail: saiyo@mosk.tytlabs.co.jp Tel(0561)63-6509

*応募書類は返却いたしません. 応募の秘密は厳守いたします

その他 Webサイト: <http://www.tytlabs.co.jp/>

2017 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ募集のお知らせ

会誌編集委員会
デジタルプラクティス編集委員会

会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」をより良くするために編集委員一同努力を続けておりますが、会員の方々の評価や希望をうかがい、今後の改善に役立てるために、モニタ制度を設けております。関心のある方はぜひふるってご応募ください。

応募の資格 本会員で、モニタの役割を積極的に果たしていただける方。

モニタの役割 「情報処理」巻末の所定用紙または学会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) から、毎月アンケートに回答する。
◇記事に対する評価 ◇記事に対する感想 ◇意見 ◇記事テーマの提案 ◇そのほか全般的な意見・提案など
注) 記事をすべて読むといったことは必ずしも必要ではありません。自分の立場や問題意識、得意とする分野などを基準とした「独断と偏見による」自由な意見を期待します。

期 間 原則として 1 年間 (2017 年 4 月～2018 年 3 月)。*最長 3 年までとします。

対 象 号 会誌「情報処理」58 巻 5 号～59 巻 4 号、および年に 4 回 Web ページ (<https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/>) にて公開される「デジタルプラクティス」(電子版のみ)。

謝 礼 貴重なご意見をいただいた方には薄謝または記念品を贈呈します。

募集人員 特に定めませんが、応募者数によっては当委員会で調整させていただくことがあります。

応募締切 **2017 年 2 月 28 日 (火) 必着**

*申込書を Fax するか、または E-mail でお申し込みください。

* Web ページ (<https://www.ipsj.or.jp/magazine/topics/2017monitor.html>) でも受け付けています。

そ の 他 ジュニア会員で、会誌(冊子体)の送付を希望される方には、モニタ期間中会誌を送付いたします(先着 10 名)。希望する場合は、申込書の要望欄に「会誌送付希望」とお書きください。

申込/照会先 情報処理学会 会誌編集部門(モニタ係)

2017 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ申込書

宛先: 情報処理学会 会誌編集部門(モニタ係) E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

氏 名

会員番号 ()

住 所 〒

所 属

E-mail:

Tel () -

Fax () -

年 齢 (歳)

業種: (a) 企業(サービス業) (b) 企業(製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関(小・中・高校・高専・大学・大学院など)
(e) 学生 (f) 学生(ジュニア会員) (g) その他

職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務 (f) 会社経営・役員・管理職
(g) 教職員(小・中・高校・高専・大学・大学院など) (h) 学生 (i) 学生(ジュニア会員) (j) その他

要望, コメントなど:

ソフトウェアジャパン 2017 開催のご案内

『データと AI が創り出す新たな価値』

<http://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2017/>

開催日時：2017年2月3日（金） 9：30～18：45 [開場・受付開始9：00～]

開催会場：学術総合センター・一橋記念講堂（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2）

東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線 神保町駅（A9 出口）徒歩 3 分

主催：一般社団法人 情報処理学会

協賛：一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会、一般社団法人照明学会、情報計算法学生物学会、一般社団法人電子情報通信学会、一般社団法人電子情報技術産業協会、一般社団法人電気学会、公益社団法人日本技術士会、一般社団法人情報サービス産業協会、一般社団法人日本統計学会、日本計量生物学会、応用統計学会、国立情報学研究所、一般社団法人人工知能学会、先端 IT 活用推進コンソーシアム、一般社団法人映像情報メディア学会、一般社団法人データサイエンティスト協会、日本バイオインフォマティクス学会、一般社団法人日本ソフトウェア科学会、日本計算機統計学会

後援：文部科学省、経済産業省、総務省、独立行政法人 情報処理推進機構、国立研究開発法人情報通信研究機構（一部予定）

概要：ソフトウェアジャパン 2017 では、「データと AI が創り出す新たな価値」をメインテーマに、近年注目を浴びているビッグデータや AI の実応用に焦点をあて、ビッグデータや AI が社会の中でどのような新たな価値創造を行いつつあるのかをみていきます。基調講演では、社会情報学、情報経済論などの分野の第一線で研究されている東京大学の須藤修先生に「AI ネットワーク化の影響とリスク」についてご講演いただきます。また「使えるデータ、使える AI」を念頭に、IBM Watson の実用化への取り組み、深層学習がもたらす新たなプログラミングパラダイム、IoT を活用した新たなモノづくり、E-Commerce における人工知能活用などに関する招待講演を企画し、社会にインパクトを与える取り組みや実用化に向けた課題について議論していきます。本イベントは、CITP『CPD プログラム受講証明書』発行対象イベントです。

参加費：

	申込区分	事前申込（税込）	当日価格（税込）
午前：IT フォーラムセッション	不問	無料	無料
午後：メインセッション	1. 情報処理学会正会員・賛助会員	10,000 円	11,000 円
	2. 関連学協会・協賛団体の正会員・賛助法人会員	12,000 円	13,000 円
	3. 上記 1、2 以外の一般参加者	15,000 円	16,000 円
	4. 学生 一律（社会人学生は対象外）	1,000 円	1,000 円
	5. ジュニア会員（懇親会参加は 1,000 円）	無料	無料

参加申込：標記の Web サイトから事前申込をお願いします。

参加申込締切：2017年1月20日（金） *メインセッション、IT フォーラムセッションとも定員になり次第締切

問合せ先：情報処理学会事業部門 Tel.(03)3518-8373 E-mail: event@ipsj.or.jp

■メインセッションプログラム（13：00～18：45）[会場：一橋講堂会議室]

13：00～13：10	Opening
13：15～16：30	第1セッション：キーノートセッション
13：15～13：50	基調講演：「AI ネットワークの社会的影響とリスク」 須藤 修（東京大学大学院情報学環教授／東京大学総合教育研究センター長／東京大学大学院情報学環セキュア情報化社会研究寄付講座リーダー）
13：55～14：30	招待講演（1）「IBM Watson の現在～実用化への取り組みと課題、今後の方向性」 元木 剛（日本アイ・ビー・エム株式会社 Watson ソリューション担当理事）
14：35～15：10	招待講演（2）「演繹から帰納へ：情報技術のパラダイムシフト」 丸山 宏（株式会社 Preferred Networks 最高戦略責任者）
15：15～15：50	招待講演（3）「IoT と AI の新結合による超スマートなものづくり」 西岡 靖之（法政大学 デザイン工学部 教授）
15：55～16：30	招待講演（4）「E-Commerce における「個別化」後の人工知能活用と協創の世界」 森 正弥（楽天株式会社 執行役員／楽天技術研究所 代表）
16：50～17：50	第2セッション：パネル討論「ビッグデータや AI が実際にどのような新たな価値を創出するのか？」 司 会：東野 輝夫（情報処理学会 ソフトウェアジャパンプログラム委員会 委員長／大阪大学大学院情報科学研究科 教授） パネリスト：須藤 修（東京大学）／元木 剛（日本アイ・ビー・エム株式会社）／丸山 宏（株式会社 Preferred Networks） 西岡 靖之（法政大学）／森 正弥（楽天株式会社）
18：00～18：25	第3セッション：ソフトウェアジャパンアワードセレモニー
18：05～18：15	受賞スピーチ（1）「深層学習の研究開発を高速化する」 得居 誠也（株式会社 Preferred Networks リサーチャー）
18：15～18：25	受賞スピーチ（2）「受託ゼロのソフトウェア企業のマネジメントと将来」 平野 洋一郎（インフォテリア株式会社 代表取締役社長／CEO）
18：30～18：40	第4セッション：デジタルプラクティス論文賞表彰式
18：30～18：40	受賞スピーチ（1）「調整中」 関 治之（一般社団法人 コード・フォー・ジャパン）
18：40～18：45	Closing
18：50～20：25	情報交換会（懇親会）

■ IT フォーラムセッションプログラム (09:30 ~ 12:00)

サービスサイエンスフォーラム 「サービスの価値を高めて豊かになる」
【セッション概要】 コールセンターや介護などのサービスに従事しているスタッフは、高い顧客満足を目指し、膨大な業務量をこなしてきました。その結果、顧客満足は向上し、業務の生産性も高まってきています。しかし、サービススタッフの待遇の改善は遅々として進んでいません。これからは「サービスの価値を高める」ことにもっと注力し、社会にとってかけがえのないサービスに従事している人たちに、豊かになってもらわなければなりません。 本フォーラムでは、「サービスの価値を高める」ことの本質を議論したいと思います。 ①サービスの価値を高める6つの要素を具体化する ②提供者と顧客が互いの文脈(コンテキスト)を共有し、価値を高める ③カスタマロイヤリティを向上させるカスタマージャーニーを紹介する この3つの講演をベースにして、例年のように会場と一体になったパネルディスカッションを展開したいと思います。
コンタクトセンターフォーラム 「人工知能はコンタクトセンターの在り方をどう変えるか？」
【セッション概要】 コンタクトセンターにおいても人工知能の活用が進み始めている。当フォーラムは、これまで一貫して経営に「貢献するコンタクトセンター」をテーマに活動してきたが、人工知能はこれまでの議論にどうかかわるのかをテーマとして取り上げる。人工知能といってもその理解はマチマチではないだろうか？ まずは、講演1にて、人工知能と言われているものを分かりやすく分類、コンタクトセンターへの適用について解説する。講演2では、先進的事例として、人工知能を導入された企業の担当者様より、その導入のねらい、効果、課題、留意点は何かなどについて、講演いただく。またパネルディスカッションでは、人工知能により高度化が進む分野は何か、他方、人間が努力すべき分野は何か？ これまで研究会で進めてきた経営貢献についての知見や議論を紹介しつつ、コンタクトセンターの今後の在り方、方向性について展望する。
ビッグデータ活用実務フォーラム 「世界を変えよう！レジェンドを残そう！マシンラーニングのら猫勉強会 in 一橋記念講堂 2017」
【セッション概要】 人工知能技術の興隆により機械学習・ディープラーニングに注目が集まっています。ビッグデータ活用実務フォーラムでは、若手を中心にオープンソースのPythonやRなどの機械学習・データマイニングツールを中心に勉強会を展開してきました。本セッションではこの勉強会を一橋記念講堂に展開します。ビッグデータ、人工知能、機械学習、IoTなどを活用しているアカデミア、産業界の各分野で活躍されている方々に、その活用内容をご紹介いただき、最近のこれら分野を敷衍し、聴講者の業務展開の参考になるような、午後のメインセッションの導入となるようなセッションを企画します。本セッションは、ニコニコ生放送にてネット中継される予定です。
CITP フォーラム 「CITP (認定情報技術者) による価値創造とそれを担う人材の創出」
【セッション概要】 日本の産業競争力強化と成長戦略の進化のために、IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等の最新技術を用いた超スマート社会の実現と、それを担う実践的IT人材の創出が求められている。一方平成26年に創成された認定技術者(CITP)制度は、実践的な能力を情報処理学会が認定するもので、3年目を迎え、個人認定、企業認定ともに徐々に浸透が始まっており、コミュニティ活動を通じた社会への貢献活動が開始されている。フォーラムセッションでは高度IT人材による価値創造と社会ソリューションの事業化への展望について語る。また、超スマート社会を牽引する実践的なIT人材育成への提言を行う。 ※本フォーラムの発表はCITP認定者の他に一般の方もご聴講いただけます。
ユニバーサルデザイン協創フォーラム [展示] 「調整中」
【展示概要】 調整中。
AITC 先端 IT 活用推進コンソーシアム (関連団体) 「協働プロジェクト『空気を読む家』」
【セッション概要】 様々な先端ITが人々の生活に密着した存在となっています。先端ITの活用推進活動を行うAITCでは、「深層学習」と「IoT」に注目し、これらの技術、およびその組み合わせの有効性を確認するための実証システムを構築しています。本実証システムは『空気を読む家』というコンセプトのもと、日常生活の中で先端ITを活用し、実証システムの構築・評価を通じて、これら先端ITを実際に活用するための提案・提言を行うことを目指しています。
IPA/SEC 情報処理推進機構 (関連団体)
【セッション概要】 調整中。

情報処理学会 第79回全国大会 イベント企画のみの聴講参加は「無料」!!
 事前予約申込はこちらから⇒ <http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/79/index.html>
 ぜひ皆様お誘い合わせの上、奮ってご参加ください

第79回全国大会 聴講参加・講演論文集・懇親会事前予約の御案内 『オープン・イノベーションと情報技術』

大会会期：2017年3月16日(木)～18日(土)
 大会会場：名古屋大学 東山キャンパス (名古屋市千種区不老町)
 共催：名古屋大学

情報処理学会第79回全国大会の「大会聴講参加」「講演論文集 DVD-ROM・冊子」ならびに「懇親会参加」の事前予約申込受付を開始します。

- 第1～5イベント会場・特別会場において開催される「特別講演/招待講演/イベント企画/各種展示」を聴講・ご覧になる場合
 →「大会イベント企画限定聴講参加」(無料)
- 上記に加え、「一般セッション/学生セッション」を聴講する場合
 →「大会共通聴講参加」(有料)

イベント企画のみ聴講希望の方は、大会 Web ページから事前予約申込みをする際、「大会イベント企画限定聴講参加」にお申込みください。
 通常の一般セッション・学生セッションも聴講希望の場合は、「大会共通聴講参加」にお申込みください(聴講参加費は有料となります)。

事前予約申込受付期間：2016年12月9日(金)～2017年2月10日(金)

招待講演・特別講演企画【聴講参加無料】：招待講演3件、特別講演3件を予定しております。

招待講演-1	16日(木) 16:40～17:10 第1イベント会場 [坂田・平田ホール] 「演目・未定」 Jean-Luc Gaudiot (President, IEEE Computer Society)
招待講演-2	16日(木) 17:10～17:40 第1イベント会場 [坂田・平田ホール] 「演目・未定」 Wen Gao (CEO, China Computer Federation)
招待講演-3	16日(木) 17:40～18:10 第1イベント会場 [坂田・平田ホール] 「Looking for Image Big Data Intelligence for Disaster Management and Product Defect Detection」 Hong Bonghee (President, KIISE)
特別講演	16日(木) 13:00～15:30 第3イベント会場 [IB大講義室] 「人工知能とディープラーニング：研究開発を牽引する国プロと科学技術政策」
	17日(金) 13:00～15:00 第1イベント会場 [坂田・平田ホール] 「情報通信技術が先導するオープンイノベーション」
	18日(土) 15:30～17:30 特別会場 [豊田講堂・シンポジオン] IPSJ-ONE

イベント企画【聴講参加無料】：各イベント企画では、その分野の最前線で活躍されておられる方をお招きし、講演・パネル討論等の開催を予定しております。

第1イベント会場 理学南館1F 坂田・平田ホール	16日 9:30～12:00 「2016年サイバー事件回顧録～技術と法制度の両面から～」
	17日 9:30～12:00 「将来の情報学リーダーが創造する新しい価値」
	17日 15:10～17:40 「5th IPSJ SamurAI Programming Contest SamurAI Coding 2016-17 World Final」
	18日 9:30～12:00 「メタサイエンスとしての情報学をつくる」
	18日 13:00～15:00 「コンピュータは、どんな作品を生み出していくのだろうかー人工知能と創造性」
第2イベント会場 ES総合館1F ESホール	16日 9:30～12:00 「論文必勝法～書こう！通そう！論文誌！～」
	16日 13:00～15:30 「情報学的アプローチによる「情報科」大学入学選抜における評価手法」
	17日 9:30～12:00 「日本の実情にマッチしたアジャイル開発に向けて～デジタルプラクティスライブ～」
	17日 15:10～17:40 「CITP 続々誕生 一国際的に通用する高度情報処理技術者資格」
第3イベント会場 IB電子情報館東棟2F IB大講義室	16日 10:00～12:00 「～コンピュータバイオニアが語る～「私の詩と真実」」
	17日 9:30～12:00 「サイバーセキュリティを確立するための戦略は？ーサイバー攻撃の最前線からのレポートー」
	17日 15:10～17:40 「社会システム・サービス最適化のためのソーシャルCPSの研究開発」
	18日 9:30～12:00 「Life Hacks for Workplace」
	18日 13:00～15:00 「会誌「情報処理」公開編集委員会」

第4 イベント会場 理学南館 1F 共通セミナー室	17日 9:30～12:00 「J17—J07 から 10年, 何を変え何を定めるか」
	18日 13:00～15:00 「情報システムのデザインコンペ」
第5 イベント会場 野依記念交流館 2F ホール	17日 9:30～12:00 「「情報力」で街を変える ～ビッグデータ利活用技術開発とその社会実装～」

一般セッション・学生セッション【聴講参加 有料】：

約1,400件の研究成果発表があります。大会3日間でおおよそ30会場を使用して、190あまりのセッションが生まれ、活発な発表、議論・討論が行われます。

懇親会【有料】：

毎回多数の方にご参加をいただき親睦を深めております。

開催日時：2017年3月16日（木）18:30～20:30（予定）

開催会場：名古屋大学 東山キャンパス 野依記念交流館 1F イベントスペース

■聴講参加費・講演論文集代・懇親会参加費（税込）

申込種別		予約価格（2/10迄）	当日
大会イベント企画限定聴講参加		無料	無料
大会共通聴講参加（正会員）		3,100円	4,000円
大会共通聴講参加（正会員）*DVD-ROM 1枚付き		8,300円	9,000円
大会共通聴講参加（一般非会員）		6,200円	7,000円
大会共通聴講参加（学生会員・学生非会員・ジュニア会員）		無料	無料
懇親会参加 一般（正会員・一般非会員）		4,000円	5,000円
懇親会参加 学生（学生会員・学生非会員）		2,000円	3,000円
懇親会参加 学生（ジュニア会員）		1,000円	1,000円
講演論文集分冊（個人・法人問わず）		12,400円	14,000円
講演論文集セット *DVD-ROM 1枚付き（個人・法人問わず）		58,700円	63,000円
講演論文集 DVD-ROM（個人）		9,000円	9,000円
講演論文集 DVD-ROM（法人）		57,000円	57,000円
送料	セットおよび4冊以下	—	800円
	5冊以上	—	1,100円
	DVD-ROM 1枚につき	—	600円

■留意事項

※「大会イベント企画限定聴講参加」は、特別講演、招待講演、イベント企画、各種展示のみ聴講参加可能です。一般セッション・学生セッションの聴講はできませんのでご注意ください。

一般セッション・学生セッションも聴講参加希望の場合には、大会共通聴講参加（有料）の方にお申込みください。

※「大会共通聴講参加」は、一般セッション・学生セッションを含む大会すべてのセッションの聴講参加が可能です。

※DVDは学生限定・大会会場限定で学割会場販売（5,000円）いたします。

※講演論文集、DVD-ROM共に、大会開催前の事前発送は致していません。

受取りは当日会場での受取りか大会終了後の郵送となります。

※講演論文集またはDVD-ROMを郵便で受け取る場合には別途送料がかかります。

※講演参加申込の方は聴講参加申込は不要です。聴講参加をお申込みになりますと二重申込となりますのでご注意ください。

■聴講参加および講演論文集の予約申込、詳細は、以下のサイトからお願いいたします。

第79回全国大会公式 Web サイト <http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/79/index.html>

■問合せ先

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F

一般社団法人情報処理学会 事業部門

電話 (03) 3518-8373 FAX (03) 3518-8375 E-mail: jigyo@ipsj.or.jp



FIT2017 第 16 回情報科学技術フォーラム 選奨論文・一般論文 講演募集予告

大会会期：2017年9月12日(火)～14日(木)

会場：東京大学 本郷キャンパス(東京都文京区本郷 7-3-1)

FIT2017 Web ページ ⇒ <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2017/>

論文受付期間(予定)：2017年4月24日(月)～5月15日(月)

◆応募ページ数：2～8ページ程度(3ページ目以降は追加代[4,000円/頁]が必要です) ◆講演時間：20分

情報処理学会(IPSJ)並びに、電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ(ISS)、ヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2017年9月には第16回目を東京大学で開催します。本フォーラムは、両学会の大会の流れをくむものですが、従来の大会の形式にとらわれずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。皆様の研究成果発表の場として、標記の通り論文発表を募集しますので奮ってご応募ください。

■ イベント企画(予定)

『招待講演 池内克史氏(マイクロソフトリサーチ/アジア首席研究員)』ほか多数を企画予定

■ 申込主要日程(予定)

登録申込/投稿受付開始：2017年4月24日(月) → 登録申込締切：2017年5月15日(月)

最終掲載原稿：2017年6月29日(木)

FIT2017より、査読付き論文は廃止とし、選奨論文制度を取り入れました。

登録申込と原稿投稿は上記のFIT2017Web ページよりお願いします。詳細は決定次第 Web ページでお知らせします。

■ 表彰

FIT2017 から選奨方法が変わります。受賞のチャンスが広がりました。ぜひチャレンジしてください。

FIT には以下の表彰制度があります。

船井ベストペーパー賞	選奨論文の中から FIT 学術選定委員会で審査の上、3件選定 賞金は船井情報科学振興財団より 20万円贈呈
FIT 論文賞	選奨論文の中から FIT 学術選定委員会で審査の上、数件選定 賞金は FIT 運営委員会より 5万円贈呈
FIT ヤングリサーチャー賞	2017年12月31日現在で 33歳未満の講演者の中から、発表者の 1.5%を上限として選定
FIT 奨励賞	一般発表のセッションごとに座長の裁量で優秀な発表を 1件その場で選定(該当なしもあり) FIT 終了後に賞状を贈呈

● 選奨論文(4～8ページ程度)

研究会取り扱い分野をよくご確認の上、ご自身の論文内容と一致した研究会を、申込者自身の責任において適切に選択してください。

選奨論文(船井ベストペーパー賞、FIT 論文賞への審査を希望する論文)として応募する場合は、Web からの講演申込みの際に、「船井ベストペーパー賞/FIT 論文賞への審査希望」欄にチェックを入れてください。FIT 初日の、船井ベストペーパー賞セッションに組み込まれ、FIT 学術選定委員会担当委員による 1次審査を行います。1次審査の結果は当日の夕方までに大会会場に掲示されます。

2次審査は FIT 終了後実施され、上位 3名が船井ベストペーパー賞、次点数名が FIT 論文賞の受賞者となります。

※ 4ページ以上の投稿が必須ですが、3ページ目からは追加ページ代(4,000円/ページ)が発生します。たとえば 6ページ投稿の場合、4ページ分の追加ページ代が発生しますので、講演参加費のほかに「4,000円×4=16,000円」の追加費用が必要となります。

● 一般論文(2～8ページ程度)

研究会取り扱い分野をよくご確認の上、ご自身の論文内容と一致した研究会を、申込者自身の責任において適切に選択してください。

※ 3ページ以上の投稿も可能ですが、3ページ目からは追加ページ代(4,000円/ページ)が発生します。たとえば 4ページ投稿の場合、2ページ分の追加ページ代が発生しますので、講演参加費のほかに「4,000円×2=8,000円」の追加費用が必要となります。

● 論文誌推薦制度について

論文誌推薦制度については、現在、詳細を検討中です。決定次第、FIT2017Web ページに掲載いたします。

■ 問合せ (FIT2017 幹事学会) ■

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F 一般社団法人情報処理学会 事業部門
電話 (03) 3518-8373 FAX (03) 3518-8375 E-mail: jigyo@ipsj.or.jp

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1ページ，1/2ページ または1/4ページ	(主催・共催)	
			1ページ	50,000円(税込54,000円)
			1/2ページ	30,000円(税込32,400円)
			1/4ページ	20,000円(税込21,600円)
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	20,000円(税込21,600円)
			賛助会員（企業）	30,000円(税込32,400円)
			賛助会員以外の企業	50,000円(税込54,000円)
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金4,000円(税込4,320円)で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4判カメラレディまたはPDFファイル（フォント埋め込み）とします。
 (1ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
 (1/2ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
 (1/4ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
 * A4判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mailまたはFax，郵送にてお送りください。
 [募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
 * なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月15日を締切日とし，翌月号（15日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
 E-mail:editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371 Fax(03)3518-8375

書評・会議レポート募集のお知らせ

情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象

- 次の2種類の記事について、原稿を募集します。
- a) 書評：過去2年間に出版された、本会会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
 - b) 会議レポート：情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本会会員に広く知らせる価値のある話題。

2. 応募資格

原則として本会会員に限ります。



3. 応募の手続き

- 1) 表題：書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
 - 2) 評者名（会議レポートの場合は筆者名）・所属・評者連絡先（住所、E-mail、Faxなど）の記載を忘れずに。
 - 3) 本文：書評は1,500字以内または3,000字以内（1または2ページ）。会議レポートは2,100字前後で書く。
 - 4) （必要であれば）参考文献、付録、図、表をつける。
- 詳しくは「原稿執筆のご案内／書評・会議レポート」
(<http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/shohyonews.html>) を参照してください。

4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

5. 照会／応募先

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp

IPSJ メールニュースへ広告を出しませんか？

広告をIPSJメールニュースで配信しています。本会会員が主な読者なので、ターゲットを絞った広告に最適です。

- 配信数：約29,000通（原則毎週月曜日配信）
- 読者層：本会会員および非会員
- 形式：テキストのみ。等幅半角70字×5行。URLを入れてください。
- 掲載位置：ヘッダ（目次の上）
フッタ（本文の最下行）
- 掲載料：ヘッダ：1回50,000円（税込54,000円）※3社限定
フッタ：1回20,000円（税込21,600円）
※それぞれ行数超過については別途相談
- 申込先：[広告代理店]
アドコム・メディア（株）E-mail: sales@adcom-media.co.jp
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27 Tel(03)3367-0571 Fax(03)3368-1519
または、情報処理学会会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371
- 申込締切：毎週水曜日締切、翌週月曜日配信となります。
- 見本：
— [広告] —
■■■■ ○○セミナー ■■■■
開催日時：1月10日（火）・11日（水）・12日（木）13:00～17:00
会場：○○コンベンションセンター
会費：情報処理学会会員の方には割引があります。
詳細はこちらをご覧ください：<http://www.....com/>
— [広告] —

情報処理学会デジタルプラクティス 特集号論文募集

「デザイン・アートと ICT の融合による サービスのイノベーション」

● ● ▶ [投稿締切] 2017年2月6日(月) 17:00 ◀ ● ●

本特集では、デザインやアートと ICT の融合による商業的あるいは公共的なサービス、デザイン・アートの思考に基づくイノベーションの手法や場の創出に関する著者自身のプラクティスの論文を募集します。

デジタルビジネスの時代を迎え、ICT の活用は企業や団体における情報システム部門だけのテーマではなくなってきています。事業部門やその先にいる生活者や社会にとって有意義なサービスとして ICT を活用するためには従来にはない発想や手法が必要となります。

デザインやアートは、これまでの ICT の世界では単にプロダクト製品での狭義でのデザインに限定されてきましたが、イノベーションを産み出すための場の設計やサービスそのものに影響を及ぼします。モノづくりからコトづくりへの転換にあたり、デザインやアートとテクノロジーの融合が必要不可欠なものになってきています。これまで「デザイン」は造形的な意匠設計あるいは問題解決とされてきましたが、それに加えて問題を発見したり提起したりする「アート」の思考が従来にはない発想や手法を生むものとして注目されています。

そこで、本特集では、実務として「デザイン・アートと ICT の融合によるサービスのイノベーション」に取り組まれた成果として、

- デザイン・アートと ICT のコラボレーションによって実現した商業的あるいは公共的なサービスにおける工夫やプラクティス
- デザイン・アートの思考を応用し企てられたデジタルビジネス・イノベーション手法や場の創出における工夫やプラクティス

について、実践の知がまとめられたプラクティス論文を募集します。これからのサービスのイノベーション創出における指針を共有する先導的なレファレンスをつくることを目標に、多くの皆様からのご投稿をお待ちしています。



※投稿要領：Web サイトをご覧ください→ <http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0804s.html> (応募資格は問いません)

※掲載号：2017年10月号 (Vol.8 No.4)

※特集エディタ：細谷 誠 (日本大学芸術学部)

※特集号編集委員：編集委員長：吉野松樹 (日立)

編集委員：伊藤 智 (産業技術総合研究所)、位野木万里 (工学院大学)、浦本直彦 (日本 IBM)、海老原吉晶 (オムロン)、鬼塚 真 (大阪大学)、上條浩一 (日本 IBM)、北村操代 (三菱電気)、齋藤 忍 (NTT)、齋藤正史 (金沢工業大学)、颯々野学 (ヤフー)、澤谷由里子 (東京工科大学)、澤邊知子 (日本大学)、柴崎辰彦 (富士通)、住田一男 (人工知能学会)、那須川哲哉 (日本 IBM)、平井千秋 (日立製作所)、福島俊一 (科学技術振興機構)、富士 仁 (NTT)、藤瀬哲朗 (三菱総研)、藤原陽子 (レノボ・エンタープライズ・ソリューションズ)、峯松信明 (東京大学)、茂木 強 (科学技術振興機構)
アドバイザー：喜連川優 (国立情報学研究所・東京大学)

10月より入会承認のプロセスが変わりました

すでに Web 等でお知らせしたとおり、新規入会については、2016年10月より入会承認のプロセスが変更となりましたのでご注意ください。詳細は下記 URL をご覧ください。なお、2017年度から正会員の会費が改定となります。

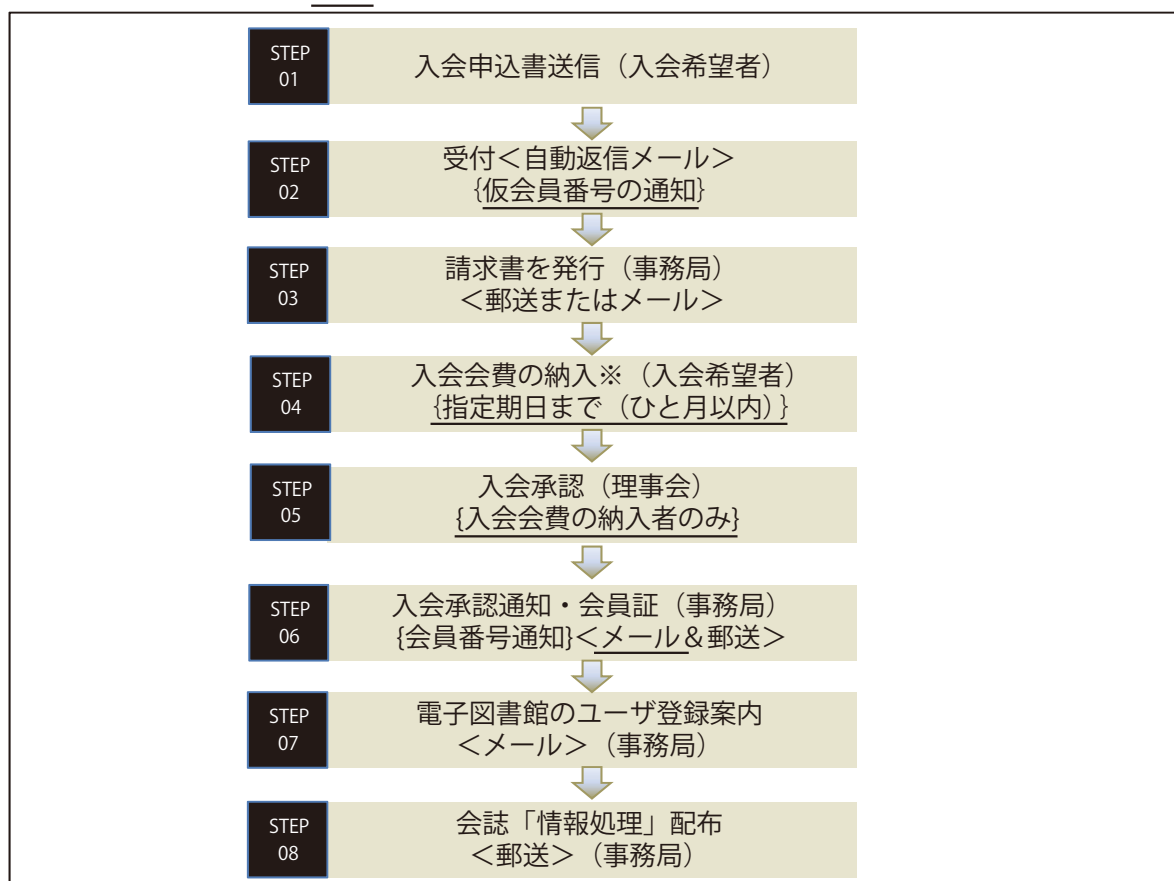
【重要】新規入会時の手順および会費請求方法の変更について (2016.5.18)

http://www.ipsj.or.jp/member/nyukai_tejunhenko.html

- 変更点
 - ・入会会費は年度額を請求します。会費[正会員：2016年度 9,600円→2017年度 10,800円, 学生会員：4,800円]
 - ・年度途中からの入会でも、翌年度への繰越はありません。新年度は4月からスタートします。
 - ・指定期日または1カ月以内に入会会費の納入が確認できなかった場合には、入会をキャンセルしたとみなします。

■ 入会承認プロセス

変更箇所は下線のとおり。 () 内は作業者, <>内は手段を示します。



■ 会費等の金額

	入会金*1 (消費税対象外)	年会費*2 (消費税対象外)	論文誌購読費*3 (消費税込*5)	研究会登録費*4 (消費税込*5)
正会員	2,000円	2016年度：9,600円 →2017年度：10,800円	5,400円	有料
学生会員	---	4,800円	5,400円	有料 (1つ無料)
賛助会員	---	1口 50,000円	5,400円	有料 (口数分無料)

*1：正会員の入会金免除の方法は、入会申込書に記載しています。

*2：表示の会費は2016年度および2017年度額です。

*3：論文誌ジャーナル (月刊)。オンラインのみの購読となります。年度途中からの場合でも繰越はありません。

*4：入会と同時に申込みできますが、毎年度変わりますので、研究会のWebサイトを参照してください。年度途中からの場合でも繰越はありません。

*5：消費税込の金額については、8%となります。

■ 照会先

一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 メール: mem@ipsj.or.jp <http://www.ipsj.or.jp/>

「情報処理」 カタログ同封サービスの ご案内

？
 カタログ同封
 サービスとは？

毎月会員に配布している学会誌に貴社/貴校のカタログや広告を同封し、直接読者にお届けするサービスです。
 通常のDMと異なり学会誌に同封しますので、**読者の開封率は格段に上がります。**
 また、カタログ送付にかかる**コストを最小に抑えることができ**、なおかつ情報処理を専門とする読者に**ターゲットを絞った効果的な案内を出すことが可能**となります。

お申し込み方法と掲載までの手続き

- 封入希望月の前月15日までに下記事項を記載の上、問合せ先までお申し込みください。
 - ◆会社名、担当者、連絡先（住所、Tel、Fax、E-mail） ◆封入希望号
 - ◆サイズ ◆カタログの簡単な内容説明
 - ◆割引対象にあたる場合はその旨記載ください。
- 封入希望月の遅くとも前月末日までに下記事項について手配をお願いします。
 - ◆カタログ見本を問合せ先までお送りください（PDF、Fax可）。
 - ◆納品業者をお知らせください。
- 納品日は封入希望月の5日（土曜、日曜、祝日の場合は翌営業日）です。日付指定にて必要枚数（20,000枚）を印刷し指定の納品先へお送りください。

※納品先は、お申し込み後にご連絡いたします。
 ※納品が遅れますと同封ができない場合がございます。その場合はキャンセルとさせていただきます。
- カタログを同封した学会誌を発行日にお送りしますので、ご確認ください。
- 後日請求書をお送りしますので振込手続きをお願いします。

1通あたり
 約17.5円！

基本価格 350,000円
 (税込 378,000円)

対象：全会員 23,000通 配布
 (正会員/名誉会員/学生会員/賛助会員)

大学や
 共催事業は
 さらに割引も！

大学/研究所/賛助会員または情報処理学会主催・共催事業は、下記のとおり割引料金が適用されます。

大学/研究所/賛助会員
 (基本価格の40% Off!) **210,000円**
 (税込 226,800円)

情報処理学会主催・共催事業*
 (基本価格の80% Off!) **70,000円**
 (税込 75,600円)

*情報処理学会研究会主催、共催を含む

サイズ：A4判またはA3判二つ折り（その他についてはご相談ください）
 用紙：色上質厚口（四六判80kg）またはコート紙（四六判90kg）相当

問合せ先

【広告代理店】アドコム・メディア(株) E-mail: sales@adcom-media.co.jp
 〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
 Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519

一般社団法人情報処理学会 会誌編集部 E-mail: editj@ipsj.or.jp
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
 Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

ご寄付のお願い

情報処理学会は、情報処理に関する学術および技術の振興をはかることにより、学術、文化ならびに産業の発展に寄与することを目的に各種事業を戦略的に展開しております。今回、学会活動の更なる活性化を図る上で会員の皆様からご寄付を頂戴いたしたく、お願いを申し上げます。

皆様から頂きますご寄付は

情報技術を通じて、人類及び世界の発展に資するため
情報技術を中心に学術および技術の振興に資するため
将来を担う人材の育成に資するため

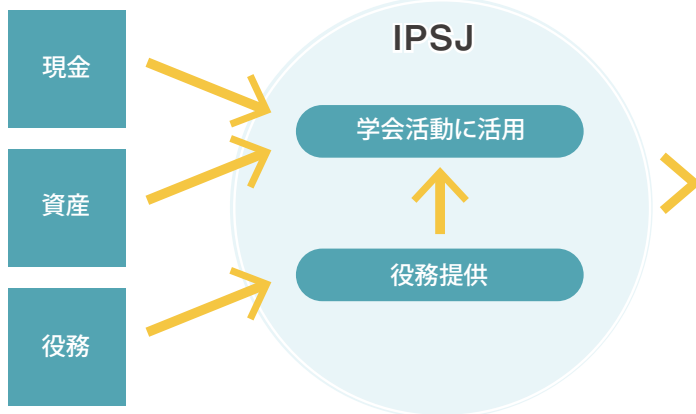
などの観点に照らし、下記の項目に活用させて頂く所存です。

今回ご寄付をお願いしたいのは現金に加えて、情報技術に関わる有形無形の資産（著作物、電子的コンテンツ、特許、ソフトウェア等）、ボランティアで提供いただける役務提供（経験や知識に基づく役務）なども含みます。お預かりいたしましたご寄付のうち用途のご指定のあるものは、そのご意向に沿った活用をさせて頂き、ご指定のないものは、その用途を学会活動の活性化に有効な諸事業で活用させて頂きます。今後も会員の皆様の絶大なるご支援・ご協力を頂きながら、学会発展のために努力して参る所存でありますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

*ご注意 情報処理学会は寄付金に対する税金が優遇される特定公益増進法人ではございません。

IPSJ 寄付

会員他寄付



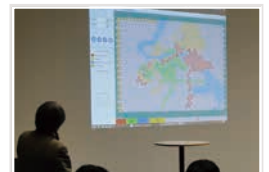
活用先

教育・育成

情報入試 子ども教室 パソコン教室

社会貢献

表彰
国際活動
規格標準化
情報資産保存
学会諸事業
その他



詳しくはこちら

<http://www.ipsj.or.jp/annai/outward/donation.html>

お問合せ

一般社団法人 情報処理学会 管理部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

TEL 03-3518-8374 FAX 03-3518-8375

✉ soumu@ipsj.or.jp

CONTENTS

Preface

- 94 **From Ubiquitous Computing towards Digital Nature**
Yoichi OCHIAI (Univ. of Tsukuba)

Special Article

- 96 **Impact of Neural Machine Translation**
Yoshimasa TSURUOKA (The Univ. of Tokyo)

Special Features

Media Transport and Signal Processing Technologies for 8K Super Hi-Vision

- 98 **0. Foreword**
Shuichi AOKI (Science and Technology Research Labs., NHK)
- 100 **1. Multiplexing Technology for UHD TV Content - Hybrid Services of Broadcasting and Broadband Network by MMT Multiplexing Technology -**
Tomoo YAMAKAGE (Toshiba Corp. Infrastructure Systems & Solutions Company)
- 104 **2. UHD TV Cable TV Transmission System with a Channel Bonding Technology**
Yoshitaka HAKAMADA (Science and Technology Research Labs., NHK) and Kazutomo UEZONO (Jupiter Telecommunications Co., Ltd.)
- 108 **3. Distribution of 8K-Broadcasting by Fiber-to-the-Home - 10-Gbit/s Ethernet Passive Optical Network System with Multi-Channel 8K-Distribution Capability -**
Masayuki OISHI (KDDI Corp.)
- 112 **4. MMT AL-FEC Codes - 8K Super Hi-Vision Broadcasting over Internet -**
Takayuki NAKACHI (NTT Corp.)
- 116 **5. MMT-based Receiver for the Realization of 8K Super Hi-Vision Broadcasting**

Maki TAKAHASHI (SHARP Corp.)

- 120 **6. A Privacy Protection Technology for 8K/MMT Era - Blur Invariant Map and Its Application to Fixed-point Observation Camera Systems -**
Terumasa AOKI (Tohoku Univ.)

"Peta-gogy" for Future

- 125 **Making Active Learning Enjoyable**
Hiroshi SANO (Tokyo Univ. of Foreign Studies)
- 126 **An Aspect of Information and Communication Technology - Digital Divide in Education -**
Katsuko T. NAKAHIRA (Nagaoka Univ. of Technology)
- 130 **Building BYOL based Educational Environment in National University**
Yuki AMANO (Hirosshima Univ.)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 135 **Senior People and ICT**
Rin-ichiro TANIGUCHI (Kyushu Univ.)

- 136 **Biblio Talk**
- 138 **Conference Report**
- 140 **Conference Report**
- 141 **Mourning**
- 143 **The Women's Club of the Editorial Committee of the IPSJ Magazine**



読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371



【特集：社会を繋げるパーベシブシステムと高度交通システム】

- 特集「社会を繋げるパーベシブシステムと高度交通システム」の編集にあたって 稲村 浩
- A Survey on the Internet-of-Things : Standards, Challenges and Future prospects Katsuhiko Naito
- Intelligent Driving System for Safer Automobiles Hideo Inoue 他
- カーネルガウシアンプロセス回帰による時空間分布データ削減方式 浅原彰規 他
- モバイルデータトラフィックの時間的局所性を解消するモバイルデータオフローディングプロトコルの提案 西岡哲朗 他
- アドホックネットワークにおける適応型ネットワークコーディングを用いたマルチキャスト通信 野口 拓 他
- 俯瞰画像における動体領域面積に基づく群衆人数推定法の提案* 小島颯平 他
- 通路に設置した回転する磁石による歩行者の通過検出手法* 武島知勲 他
- 歩行時の磁気センシングデータを利用した屋内位置推定手法* 村田雄哉 他
- 鉱山用重機間通信による周辺重機検出手法の提案 長船辰昭 他
- 車載カメラ撮影映像提供システムにおける位置指定要求に対する映像選択方法 伊藤亮輔 他
- 路側設置マイクロフォンによる車両カウントシステム 石田繁巳 他
- 車車間通信システムのための分散協調方式における伝送性能解析 藤井雅弘
- ARIB STD-T109に基づいた車車間通信のためのアクセス制御方式の効率化に関する研究 横森崇宏 他
- Wi-Fi チャンネル状態情報を用いた屋内建具の開閉状態変化の検知手法 尾原和也 他

【特集：ダイバーシティ社会に向けたコラボレーション支援とネットワークサービス】

- 特集「ダイバーシティ社会に向けたコラボレーション支援とネットワークサービス」の編集にあたって 金井秀明
- LuPaCa : 医療従事者による用例登録を可能とした多言語対話シート作成システム 尾崎文香 他
- 情報共有を伴うアドホックな対面協調作業のための近接端末間方向認識 塩見和則 他
- 共有フォルダからの活動計画の抽出による組織知識活用手法の提案 齊藤典明 他
- 人数が不均衡な遠隔テレビ会議における弱い光を用いた視線アウェアネス 敷田幹文 他

- 温度刺激と表情アイコンを持ち共鳴機能を備えた対戦ゲーム場面での感情伝達システム「Ther.com」の開発 宗森 純 他
- Effectiveness of Service-oriented Router for ISP-CDN Collaboration Wijekoon Janaka 他
- 部分重畳型ビデオチャットにおける侵入感を与える三次元的な移動表現 濱上宏樹 他
- 国際シンポジウムのための多言語支援システム 中口孝雄 他
- スマホ・アプリで津波避難の促進対策を考える：「逃げトレ」の開発と実装の試み 孫 英英 他
- 災害時支援システム“あかりマップ”の地域住民による防災マップ作成への適用 吉野 孝 他

【一般論文】

- WiFi AP を用いたセンサ測位に向けた WiFi AP 動作チャンネル推定手法 石田繁巳 他
- Optimum Application Deployment Technology for Heterogeneous IaaS Cloud † Yamato Yoji
- Activity Recognition and User Identification based on Tabletop Activities with Load Cells Kazuya Murao 他
- トイレトベーパーの回転に基づくトイレ使用者識別手法* 倉橋真也 他
- ボットネットの C&C サーバ特定手法におけるフィルタシステムの提案と評価 岡安翔太 他
- セキュリティルール違反行動の抑止に関する一考察 岡野裕樹 他
- 参加周期の異なるプレイヤーが混在する少数派ゲーム 片平 啓 他
- 滑らかな変化を検出するためのグラフ系列クラスタリング 長村佳歩 他
- Coordinated Area Partitioning Method by Autonomous Agents for Continuous Cooperative Tasks Sea Vourchteang 他
- Inflating a Small Parallel Corpus into a Large Quasi-parallel Corpus Using Monolingual Data for Chinese-Japanese Machine Translation Yang Wei 他
- 正規化処理を用いた特徴空間識別学習の高精度化と音響環境適応 福田 隆 他
- Fixation to Word Mapping using Classification of Transitions between Sequential Reading Segments † Akito Yamaya 他

* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note





論文誌トランザクション掲載論文リスト (Jan. 2017)

【論文誌 プログラミング Vol.10 No.1】

- Concurrent Program Logic for Relaxed Memory Consistency Models with Dependencies across Loop Iterations
Tatsuya Abe 他
- Parallelization of Extracting Connected Subgraphs with Common Itemsets in Distributed Memory Environments
Shingo Okuno 他
- 拡張可能な構文解析器生成系による構文エラー処理機能の実装
細田将大 他
- 定理証明器 Coq の効率的な有限ドメイン関数ライブラリ
坂口和彦 他



【論文誌 コンシューマ・デバイス&システム Vol.7 No.1】

- Energy-on-Demand System Based on Combinatorial Optimization of Appliance Power Consumptions
Naoyuki Morimoto

- 車載地図更新向け列指向データ圧縮の高速化 関口隆昭 他
- スマート端末と周辺デバイスを簡単につなげる Web ドライブ技術 二村和明 他
- 狭域エリアにおける ICT 活用システム 城ヶ崎寛 他
- UHF 帯 RFID を用いた視覚障がい者向け歩行者ナビゲーションシステムの開発と展示会への適用 山下晃弘 他
- 心拍と呼吸を用いたコンテンツ視聴による気分変化の推定: コメディ視聴における検討 角田啓介 他



【Transactions on Bioinformatics Vol.10】

- Protein Fold Recognition with Representation Learning and Long Short-Term Memory Masashi Tsubaki 他



デジタルプラクティス掲載論文リスト Vol.8 No.1 (Jan. 2017)

【特集：ICT とダイバーシティ社会】

【招待論文】

- アンドロイドメディアの可能性とマツコロイド 石黒 浩 他
- 音訳支援システム DaisyRings の開発と音訳コミュニティでの実証—読むことが困難な人にも楽しめるオーディオブック作成—
布目光生 他
- ReAcTS: ボランティアによる実地アセスメントを支援するバリアフリー状況収集・整理プラットフォーム 三浦貴大 他
- 情報処理学会におけるダイバーシティ推進—Info-WorkPlace 委員会の取り組み— 加藤由花 他
- 企業における多様な人材の活用のプラクティス～仕事と育児の両立に注目して～ 山口理栄 他
- 《パネル討論》ダイバーシティ社会に向けたワークプレースを考える
- 《インタビュー》浅川智恵子氏インタビュー「ICT とダイバーシティ社会」
インタビュアー 土井美和子

【JISA 招待論文】

- 表彰制度「JISA Awards」について 横塚裕志
- 被写体認識技術+ OCR 技術を活用したスマートフォンアプリによるマイナンバー収集代行サービスの実用化 増田 隆 他

【一般投稿】

- スマートフォンを用いた聴覚障がい者向け情報保障システムの構築と評価 木村 勉 他
- IT システム基盤移行におけるデータ移行設計—データ移行方法の選択プロセスと実践— 劉 功義 他
- 日本最大級の女性向けコミュニティサイトにおける違反コンテンツ検閲システムの構築—安心して使い続けてもらうためのコミュニティを目指して— 島田達朗 他



ご意見をお寄せください！

【2月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(e) 学生 (f) 学生（ジュニア会員） (g) その他…………… 4- []
- (5) 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(h) 学生 (i) 学生（ジュニア会員） (j) その他…………… 5- []
- (6) 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上…………… 6- []
- (7) 性別： (a) 男性 (b) 女性…………… 7- []
- (8-1) あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ…………… 8-1- []
- (8-2) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない…………… 8-2- []
- (9) どちらの媒体で記事をお読みになりましたか？
(a) 冊子版 (b) 情報学広場（電子図書館） (c) App Store (d) fujisan (e) その他…………… 9- []
- (10) 今月号（2017年2月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 巻頭コラム：ユビキタスからデジタルネイチャーへ…………… 10-1- []
- 特別解説：ニューラル機械翻訳の衝撃…………… 10-2- []
- 小特集：8Kスーパーハイビジョン放送を支えるメディア伝送技術
1. 4K・8K放送に向けたコンテンツ多重化…………… 10-3- []
2. 複数搬送波伝送方式を適用した4K・8K衛星放送のケーブルテレビ再放送システム…………… 10-4- []
3. FTTHによる8K放送配信…………… 10-5- []
4. MMT AL-FEC符号化技術…………… 10-6- []
5. 8Kスーパーハイビジョン放送実現に向けたMMT対応受信機…………… 10-7- []
6. 8K/MMT時代のプライバシー保護技術…………… 10-8- []
- べた語義：学習者の主体的な学習・学修が効果的であるには…………… 10-9- []
- べた語義：ICT活用に想う…………… 10-10- []
- べた語義：国立大学のノートパソコン必携化とその課題…………… 10-11- []
- IT好き放題：シニア世代とICT…………… 10-12- []
- ピブリオ・トーク：夜明けのロボット（上）（下）…………… 10-13- []
- 会議レポート：ICFP 2016参加報告…………… 10-14- []
- 会議レポート：FIT2016イベント企画「ダイバーシティ社会に向けたワークスペースを考える」…………… 10-15- []
- 会誌編集委員会女子部…………… 10-16- []
- 連載漫画：IT日和…………… 10-17- []
- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- 〔11-1〕良かった記事…………… 11-1- []
- 〔11-2〕この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家…………… 11-2- []
- 〔11-3〕選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）…………… 11-3- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

〔12〕 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕 良くなかった記事 12-1- []
 〔12-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
 〔12-3〕 選んだ理由（下記から，いくつでも選択可） 12-3- []
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

〔13〕 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- 〔13-1〕 8Kスーパーハイビジョン放送を支えるメディア伝送技術：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []

〔14〕 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください。

〔15〕 会誌に対するご意見や感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会誌配布，会員特典，会費等口座振替，海外からの送金，賛助会員，電子図書館
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，転載許可，出版，コンピュータ博物館（情報処理技術遺産），著作権
デジタルプラクティス	editdp@ipsj.or.jp		デジタルプラクティス（DP）の編集・査読，DPレポート
図 書	tosho@ipsj.or.jp	03-3518-8374	出版物購入
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル/JIP/トランザクション）の編集・査読
調査研究/ 国際/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，研究グループ，シンポジウム，国際会議，IFIP委員会，情報処理教育委員会，ア krediyation対応，認定情報技術者制度
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，プログラミングコンテスト，プログラミング・シンポジウム，協賛・後援
技術応用	event@ipsj.or.jp		連続セミナー，短期セミナー，ITフォーラム，ソフトウェアジャパン，その他講習会
■ 管理部門			
総務/庶務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	総会・理事会，支部，選挙，総務系選奨，関連団体，アドバイザーボード
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，セキュリティ，電子化委員会，電子図書館，IPSJメールニュース
■ 情報規格調査会			
規格部門	問合せフォーム https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html		ISO/IEC JTC 1での情報技術の標準化業務 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

ひさしぶりにハードウェアなテーマ「8K スーパーハイビジョン放送を支えるメディア伝送技術」をお届けした。なぜ「情報処理」で「スーパーハイビジョン」？と、思われた方も解説をお読みいただければこのシステムが放送、ケーブル、ネットを融合した高度な情報システムであるにご納得いただけたと思う。この分野では日本の技術者が世界の先頭に立つ開発に取り組んでいるが、今回は著者陣の謙遜ぶりにはあきれた。「編集にあたって」の「世界初」という言葉は当初省略されていた。閲読時に私がリクエストして追記していただいたが、「世界初」は省略しちゃダメだ。試験放送は放送設備から受信機まで新システムとし、本放送同様に衛星を使い、全国に送信する大プロジェクトだ。これを完成するだけでも大変な作業だが、それを「世界初」の8Kで行うのは2番手、3番手とはまったく異なる

困難な作業だからだ。さらに日本はWTO TBT協定を遵守する必要があり、ISO標準化、ITU-R標準化も並行して進める必要があったが、これらもほぼスケジュール通りに完了した。この経緯は昨年2月号に記事にさせていただいたが、ここでも相当のご苦勞があったはずである。

さて、特集を読まれた方は、インターネットはベストエフォートであるが、放送用メディア伝送ではクロック同期で指定のタイミングで確実にデータが到着する、ということをご理解いただけたと思う。特集では、いつすべての原稿がそろるかいつも心配しているが、さすが放送用メディア技術者の皆さまである。ちゃんとクロック同期してほぼ期日通りにすべての原稿を届けていただいた。感謝。

(金子 格/本小特集エディタ)

次号 (3月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」エドテック

エドテックがもたらす教育イノベーションとは？—見えてきたエドテックの本質—/オープンエデュケーションとエドテック/アダプティブ・ラーニング (適応学習) の潮流—教育ビッグデータを活用した学習の個別最適化—/学校教育における AI 型教材導入のすすめ—知識教育の効率化により確保した時間で「未来を生き抜く力」を子どもたちに—/オンライン英会話のしくみ—日本に住みながら英語を話せるようになるために—/スポーツがうまくなるアプリ/「つくる」を軸に自由に、分野横断的に学ぶ—ファブラーニングの実践とその可能性—/ブロックを活用した教育—レゴブロックを通じて、将来のために、いま築く力—/いじめ防止アプリ—いじめ問題を IT の力で解決する—/ICT が可能にした未来の大学/教育クラウド・プラットフォーム協議会—プラットフォームのプラットフォーム—

「小特集」Live E! : ~活きた地球の環境情報~ デジタル環境情報の中で自律的な生成/流通/加工/共有に向けて

Live E! プロジェクト: 活動趣旨とその主な成果/センサネットワーク技術 Live E! アーキテクチャから IEEE1888 へ/広域の気象センサから得られるデータの可視化/教育現場における利活用: 高大連携とコンテストの主催

解説: 観光情報学の最前線—観光の分散化と個人化を促進する集合知活用情報技術—……………馬 強

教育コーナー: べた語義

連載: IT 日和/会誌編集委員会女子部/古機巡礼/二進伝心/ビブリオ・トーク

コラム: 巻頭コラム/シニアコラム: IT 好き放題

会議レポート: UIST 2016 参加報告—アジアでの初開催で過去最大の参加者—

学会活動報告: IFIP—情報処理国際連合—近況報告

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	330,000円 (税込356,400円)	—	—
表3	275,000円 (税込297,000円)	—	—
表4	385,000円 (税込415,800円)	—	—
表2対向	300,000円 (税込324,000円)	—	—
表3対向	265,000円 (税込286,200円)	190,000円 (税込205,200円)	155,000円 (税込167,400円)
前付1頁	250,000円 (税込270,000円)	165,000円 (税込178,200円)	135,000円 (税込145,800円)
前付1/2頁	—	—	80,000円 (税込86,400円)
前付最終	—	—	148,000円 (税込159,840円)
目次前	—	—	148,000円 (税込159,840円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	275,000円 (税込297,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		
同封 (A判 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」58巻2号 掲載広告（五十音順）

- インタフェース 表2 産業技術大学院大学 前付最終上
 オーム社 表2対向 日立製作所 表4
 講談社 目次前
 すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

Orchestrating a brighter world

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

三菱電機 (株)

CyberAgent.

(株) サイバーエージェント

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

RECRUIT

(株) リクルートホールディングス

Google

グーグル (株)

docomo

(株) NTT ドコモ

TOSHIBA

(株) 東芝

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

NTT DATA

NTT データ (株)

OKI

沖電気工業 (株)

GREE

GREE (株)

Rakuten

楽天 (株)

JISA

情報サービス産業協会

TREND MICRO

トレンドマイクロ (株)

NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic

パナソニック (株)

FORUM 8
フォーラムエイト

(株) フォーラムエイト

人と音楽の新しい関係をデザインする。
レコチョク

(株) レコチョク